

## 早稲田大学 商学部 数学 講評

### 〔総合分析〕

出題形式	マーク・記述併用
試験時間	90分
特徴・その他	

### 〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
1.	(1)三次方程式の解と係数の関係 (2)絶対値と定積分 (3)独立事象の組み合わせ (4)四面体の体積と座標	(1)解を $n-1, n, n+1$ と置けばよい. (2)被積分関数をまとめる必要はない. (3)各位の数を固定したとき独立して(無関係に)他の位は決められる. (4)四面体は立方体の頂点と共有して立方体の中に作ることができる.	標準
2.	円に内接する多角形の計量	六角形は各頂点と円の中心を結ぶとき合同な二等辺三角形が3枚ずつある.	標準
3.	数列と整数	公比 $\frac{p+1}{p}$ が整数のとき, 整数でないときで条件を変えるのが本問の主題といえる.	標準

### 〔総合コメント〕

<p>問1から3題以上取りたい。問2, 3をどこまで粘れるかがポイントとなる。計算ミスを引き起こすといつも確認できる解でないだけに気づかない。</p> <p>市販の問題集での演習で充分70パーセントは取れる。</p>
--